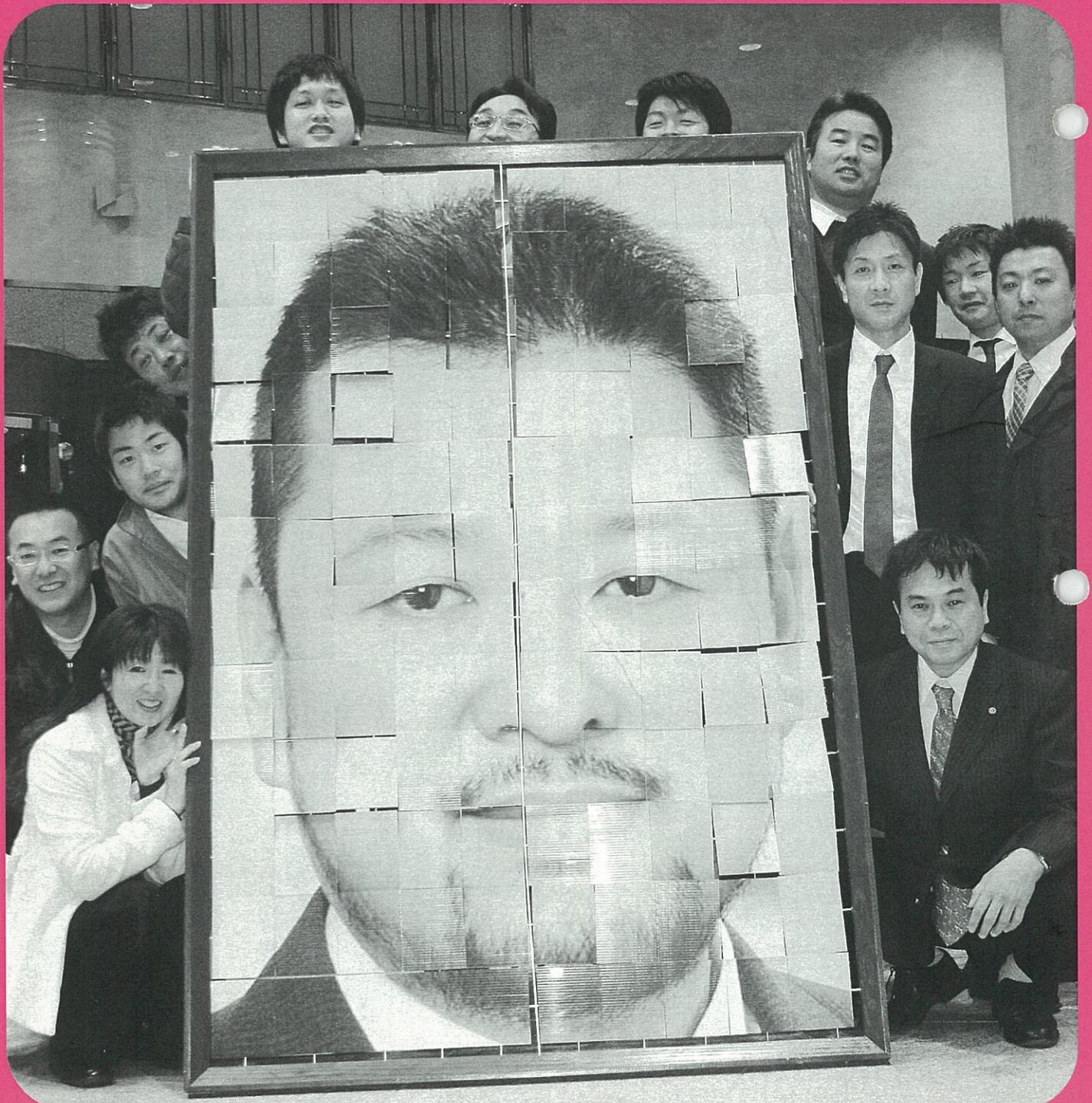




福居



vol.108





福井商工会議所青年部 会長 村中洋祐

「和魂福彩 ~わこんふくさい~」

和の心をもって、福井のまちの彩り・活気之源となろう！

このスローガンの下、あつという間に走り抜けた1年でした。本気で関わりあった者同志がお互いを思いやる心こそ「和」と考え、掲げたスローガン。まさしくそれが、企業を、地域を活性化させ得る唯一の方法であると実感しています。しかし、平成19年度を振り返ると、社会情勢は決して明るい話題ばかりではありませんでした。特に、数々の著名な企業によって引き起こされた「偽」の不祥事は、消費者を軽視した背徳行為であった、それぞれの業界に大きな影響を及ぼしました。また、少子高齢化が進み、人口が減少傾向に転じた中、更に大都市圏と地方都市との地域間格差、企業間格差という新たな課題も生じてまいりました。

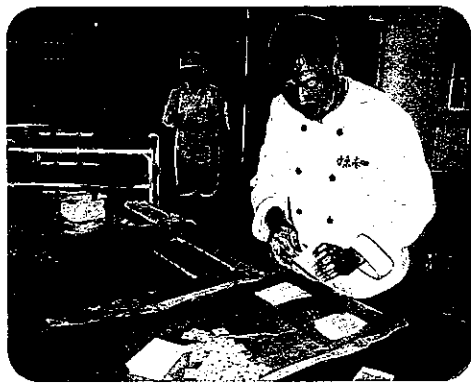
そのような中、我々福井YEGは、次代を担う若手経済人の団体として、地方再生に貢献する中小企業の牽引役であるという意識の下、今年度活動に取り組みました。活力ある地域、福井の元気を次代へ繋ぐ為、企業人の視点から考えて、平成17年より実施している「お仕事探検隊 アントレキッズ」は、我々中小企業を取り組めるキャリア教育として文部科学省にも認められ、益々社会に対して有益な事業であると感じております。一層の真価を発揮する為、開催要項の作成も行い、今後地域でも活発に取り組める活動に繋がっていくものと考えております。

また、我々会員企業、ゆきゆきは地域産業の活性化に寄与できないかと考えた「YEG逸品」。中心市街地を流れる足羽川とその周辺に広がる桜並木。福井YEGの先輩方がさくらルネッサンスから立ち上げ、今や福井市民の宝と位置づけられた桜も、激特事業による伐採が始まりました。その木を使って、今一度あの情景を市民と共に心に残すべく、若狭塗箸を作成し販売するに至りました。このYEG逸品は、桜並木の整備が進み市民の担う役割を考える一助ともなってくれることでしょうか。そのような視点が、近い将来のまちづくり活動にも貢献するものと、期待を膨らませております。

そして、北陸整備新幹線や中部縦貫道など、交通体系の整備が着実に進む中、福井の玄関口である中心市街地の都市機能を我々経済人、そして青年の夢も視点に入れ考えてみようと思案しました。「市民の広場」。福井の魅力発信して行く事が、今後進む地方分権という名の地域間競争に挑むために、必要不可欠であると考え、市民と共に論じ、いくつもの気づきを得る事が出来ました。様々な答えがあって、全てが正論でも、正解ではないという難解なまちづくり。我々が何かを変えられるものではないのかもしれないが、若人だから取り組める動きは、これからは期待される場所でもあります。

夏祭りの縁遊座や、自身の資質向上の為の例会。会員皆と出かけた各大会など、書ききれない程とても楽しく充実した活動が行えました。ゆきゆきと会員皆様の本気の結びであって、先輩諸氏、歩を共にして頂きました諸団体のご尽力の賜物であると心から感謝申し上げます。大変素晴らしい席に私を置いて頂き、福井YEGの力、会員個々のスキルの高さを改めて思い知った年でありました。最後の最後まで、感謝、感謝、感謝です。

そして、また福井YEGは続きます。平成20年度の船出が、目前まで迫っています。YEGとは経済人、商売人の集合体であればこそ、その時のニーズに照らし合わせた活動を行うのが真意。ラレキンプルに、より高い目的を目指して進んでいくものと期待が膨らみます。堀田次年度会長の下、また優秀で頼もしい役員が結集し、一層の発展が実現するのではないのでしょうか。我々若手経済人の成長こそが、次代の産業を支え、地域に活力を見出す源動力となるはず。これからも益々、「和」をもって頑張っていきたいと思います。



お菓子づくりに励む村中会長

ありがとうございました



幸せの門出はプランカで

五十嵐 靖央

平成16年4月に入会させて頂いて今日までの4年間、皆さまには大変お世話になりました。皆様のおかげで、あつという間の4年間で、これといって皆さまのお役にも立てず申し訳なく思っています。そんな不真面目な私が、福井YEGで得たいと思っていたのは人との和です。皆さまも、メンバーや事業に携っていた人々に出会えて色々な事を教えて頂けて本当に勉強になりました。ありがとうございます。プランカの近くにお越しの際には是非お立ち寄り下さいます様お願い致します。心待ちにしています。

私を育ててくれたYEG、ありがとう



細かい作業も社長自ら...

竹下 英二郎

昭和63年に入会しましたが遂に卒業します。私の人生、特に社会人生活のほとんどを、YEGとともに歩み、YEGからいろいろな事を学ばせていただきました。入会した当初の中央公園での「市民の広場」で何もない、ゼロから、「福井再発見タイムトライアル」などのコーナーを作りあげていく様子に圧倒され、YEGの勇気と英知と実行力に驚かされました。「秋色」ときめき・ハートランド」特に福井駅東で開催したことが、現在も地元、旭地区の人達によって引

き継がれている事は、YEGにとって自慢であるし、誇れる事だと思っています。桜ルネッサンスで足羽三山に植樹したこと、福井フェニックスまつりで会議所の重い神輿を担いだこと、夏のキャンプの仮装懇親会で看護婦に扮し家族で出演シーンを演じ優勝したこと、翔生ゴルフクラブに積極的に参加したこと、YOSA KOIに出合い踊りまたオフィシャルガイド制作に関わったこと、全国会長研修会福井会議のPR宣伝部隊として遠くは北海道北見まで行ったこと、近畿ブロック大会や全国大会への参加、テクノフェアに青年部ブースを出展したこと、アントレ・キッズの参加など本当にたくさんのお思い出が蘇ってきます。

20年の長い年月の間には、紆余曲折があり青年部活動に積極的に参加したくてもそうできなかった時期、青年部から身を引こうと真剣に考えた時もありました。今、思えばそれを乗り越えたからこそ、頼もしくやさしい諸先輩たちやすばらしい仲間たちに出会えたのでしよう。YEG、青年部は会員本人のモチベーション次第でどうにもなるのです。YEGは会員全員に平等に門戸を開いています。「何事も一生懸命活動していれば、誰かが手を差し出してくれる」と先輩が述べられていました。傷つくことを恐れず、少しの勇気を持ってYEG活動されることを後輩たちに期待します。最後に、諸先輩、YEG会員、事務局の皆さんのご健康と益々のご発展をお祈り申し上げます。

皆様へ...



姿勢がいいですねえ

坪田 陽子

福井を愛するYEGの皆様と共に私も〜と思いが、なかなか出席することが出来ずに月日が過ぎてしまいました。

「お世話になりました！」



こんな感じで仕事しています。

堂越 啓司

「YEG」は卒業となりますが、これからもバレーを通して、「福井」の文化向上に少しでも貢献出来るよう、皆様に負けないように頑張っていきたいと思っております。どうもありがとうございました。

私が入会したのは、平成3年1月、竹越会長の時でした。4月に「さくらルネッサンス」を終え、翌年に近畿ブロック運営研究会を控えた時期でした。近プロの分科会の準備に、夜中まで資料作りをしたのが昨日のように思い出されます。この事業を契機に、福井YEGに積極的に参加するようになりました。その後も20周年記念、25周年記念事業や、委員長や副会長まで経験させて頂いて、たくさんの方の経験や仲間作り育てることができました。これは、青年部に本当に感謝しております。後半は、なかなか参加できず、「幽霊会員」になってしまいました。福井YEGの皆さんには、今後も益々頑張って、楽しんでいただきたいと思います。本当にありがとうございました！



現場で汗を流す

富田 幸市

「ありがとう YEG」

平成11年3月に(有)エフオーシステム 佐々木様から当時YEG入会しない？と事務所に来てくれたのがきっかけでした。仕事は不動産のため、いままでも同業者同士のつきあいはあっても異業の交流は少なかったです。いつまで続くかわからなかったつもりで軽い気持ちで入会しました。

でも入会したおかげで視野も広くなり、またYEGイッチョライで知り合いになった方も増えてさらに越前一張羅隊 明新森組にも所属して北海道札幌まで演舞ができました。YEGに入会しなければYOSAKOIにも参加していなければ出会いもなかったです。お陰で主婦の気持ち子供の気持ちもYOSAKOIで学ぶことができました。平成14年には例会委員長でベイオフ対策、福井新聞新社屋見学会、ビジネスマンとしての必要不可欠な例會を楽しむこともできました。オープン例會のきっかけにもなったパワーポイント10分例會担当委員が自分の仕事をアピールする例會もできました。その後、父親が要介護になり介護・看病の生活で四苦八苦が続きました。簡単には老人介護施設には入所できずしかも男性は特に入所が厳しいです。話が長くなりますので皆様も危機になりましたら アドバイスできる限りします。趣味は登山です。富士山も山頂までいきご来光も見ることができました。山は森林浴と心と身体を癒してくれます。体脂肪もグーッと減りますよ。10年間でたくさんさんのYEG会員をしてNPO団体Y

O SAKOIと仲間が増え楽しい経験になりました。皆様ありがとうございます。



笑顔で設計

友田 博道

YEG活動を振り返って

平成11年度出田先輩の紹介でYEGに席を置くようになりまして。入会当初四、五年は幽霊会員を務めました。事務所開業間もなくでもあり一人で仕事をこなして、とてもYEG活動に顔を出す余裕がないと思っておりました。実際はYEGが何かもわからず活動どころか会そのものに興味を持ってなかったのだと思います。それが村中会長のお声かけで活動に少しずつ参加するようになりまして。会を理解したわけではありませんが、何か面白そうなのがありそうなのがある。その後副委員長、委員長、副会長、といろんな役員を経験させていただきました。どの役職も完全にやりきったとは言えず他の会員の方々にはご迷惑をおかけしました。この場をお借りしてお詫言申し上げます。思い起こすと委員長の年度が一番充実しており、なおかつ大変だったような気がします。夜は毎晩深夜まで委員会や役員会などがあり、週末は毎週のように事業がありまして。おかげで家族に会う回数が減り、事務所仕事に集中することも減りました。そればかりか企画書やアンケートの集計や報告書などを会社に持ち込んで行うこともありました。ただそんな委員長を一年間やり終えて思ったことは、何事につけても長に立たないと始まらないということです。人の影でいく物事に取り組んでも、相手が見えない、全体や将来が見渡せない、また自身を知ってもらえることも少ない、人それぞれ長に立つことの認識や目的の差はありますが、私は委員長で達成感を感じ、自分なりに成長

も旅好きの私には楽しい思い出です。ただ10数年間、ずっと全力投球だった訳ではなく、途中数年間は幽霊会員状態で、1年に1回も例會に出席しなかったこともありまして。そうした私にでも昨年度、最後に委員長をまかせていただき、新たな挑戦をできたことは、とても意義深いものでした。今後の青年部のますますのご活躍を期待します。

「人間力道場」福井YEG卒業にあたり



貴重映像

牧野 利幸

平成2年入会以来、17年余り多くの素晴らしい方々との出会いを得、そして多くの事を学ばせて頂き、単位習得満了か賞味期限切れか？いずれにしてもお陰様で無事、卒業を迎えます。私にとってYEGは人間力を高める「社会道場」であり、もしYEGに入会していなかったらと考えるとその大きさを痛感するばかりです。ハートランド、イッチョライ、全会研など、喧々轟々、バカになりきり、時にはいや(いつも)熱く酒を酌み交わし、語り合い、私の人生の中で大変有意義な年月でありました。

在籍が長い分、色々な委員会・職責に携わり、先輩諸氏に付いていく立場から、物事を動かす遂行していく立場まで、様々な貴重な経験の機会を得ることができました。人は人によって磨かれる、その環境としてこの福井YEGには十二分な価値があります。現役メンバーの皆さんには是非、YEGライフを一生懸命に満喫し、自分作りに役立てて頂きたいと思っております。これまで多くの先輩諸氏の卒業にて、去り行く背中の一礼を続けて参りましたが、いよいよ順番。遠かったはずの卒業が迫り、足羽河原の桜の伐採が進む中、満開の桜もよいが、やはり桜は散り際がよい。自分

自身に満開があったかどうかは別にして残り僅か、老木は散り際良く行きたいものです。美学などを語る旧人類の私などはYEG卒業後、直球を投げ過ぎた体をいよいよ「社会と家庭復帰」を果たし、足羽河原の桜のように箸になるのも良いですが、まだまだ未熟な自分としては桜のつぼみでありたいものです。最後になりましたが、今後の福井商工会議所青年部と会員各位の活躍を祈念し、感謝を添えてお礼申し上げます。ありがとうございます。

YEG卒業にあたって



いい仕事しませ

水元 暁

私がYEGに入会したきっかけは、長崎県で建築士会青年部の全国大会が行われた時、前田裕之君に誘われ飲んだ勢いだったと思います。入会した当時は、時代行列と率先して参加していたのだが、仕事？が忙しいとかに託け足が遠のいていきました。しかし中学生中心で行われた第七回ふくい市民会議、福井開催会長研修会など、協力させて頂き自分にとって非常に素晴らしい経験をさせて頂きました。若いエネルギーな会・そんなYEGを卒業する歳って事は、私もいよいよ歳になったんだなと実感しています。今は主として他の会(ライオンズクラブ)にて活動しておりますが、YEGで培った事を生かし社会奉仕に精進して行きたいと思っております。最後に青年部会員皆様のご健勝を祈念致します。卒業の挨拶とさせて頂きます。本当に有難う御座いました。

を遂げたと思います。得るものが最も多かった年度だと思えます。

福井YEGは「桜ハートランド」「YOSAKOI イッチョライ」「市民会議」「アントレキッズ」と他のYEGと比べると、事業の公共性、規模の大きさ、事業主の深さを感じます。そんな福井YEGのさまざまな対外事業に直に関わることができ、地域としてのYEGの存在意義を感じることができました。また福井YEGに10年近く所属して、他団体も含めてたくさんの人と知り合いになり、仕事、学校、友達とは違った人間関係を築くことができました。これがYEGに所属して得た一番大切なものだと思います。福井YEGの歴史を創られてきた先輩方ありがとうございます。そして将来更なる歴史を創られていく後輩の方々よりお願いいたします。

青年部を振り返って



いつでもニコニコ

前田 裕之

平成5年の入会以来、10数年を振り返ってみますと、本当にいろんな経験をさせて頂きました。ここに改めて、御礼申し上げます。役員としては、みなさんの協力のもと委員長、副委員長を各々3回させて頂きました。携わった活動は、市民の広場、ハートランド、サンパ、YOSAKOI イッチョライ、市民会議・と対外的なものが多かったでしょうか。多くの他団体の方々と交流させて頂きました。

青年部内の活動でも、キャンプやクリスマス会などに家族で参加したのは思い出深いです。全国大会・ブロック大会への参加、YOSAKOIソーラン視察、YEG大賞のプレゼンなど、日本各地を旅行できたこと

「ありがとうYEG」



お姉さまも、どうどう卒業

山本 真貴子

平成14年に入会させていただいたから、あっという間の6年間でした。振り返ってみて、YEGで頑張ったことを一つあげるとしたら、やはり平成16年に福井県で行われた全国会長研修会です。連日連夜(?)の打ち合わせ。私は毎日参加させていたたく事はできませんでしたが、それでも家の者に嫌味を言われながら出かけて行ったのが当時は大変でしたがいい思い出です。あの経験がなかったら、私のYEG活動はやや寂しいものになってしまったかもしれません。

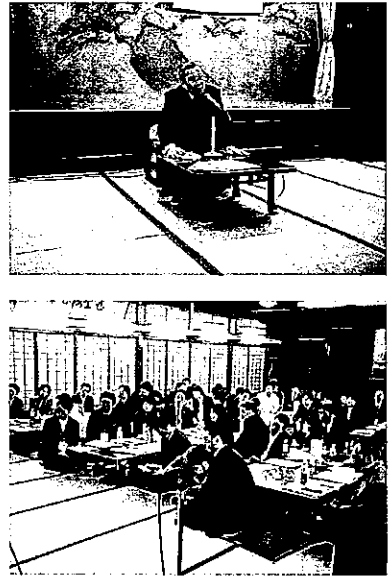
その時も感じたのですが、かなり年齢の離れた会員同士が力を合わせているのがYEGの良い所ですね。これからも、若者は年長者を敬い、年長者は若い人の意見に耳を傾けお互い成長して行けるような活動を続けていって下さい。最後に皆様のご活躍と、お幸せを心からお祈りしています。

4月例会

4月25日(水)19:30から藤の家五雲閣において、商いの和委員会(松井委員長)が担当する4月度例会を開催しました。

第1部の「福井商工会議所江守幹男会長による講和」では、自身のこれまでの失敗や成功秘話をお話して頂き、その中で「失敗を恐れるな、失敗の中に成功がある!」「人とのかわりや出会いを大切に!」など、経済人の先導者である江守会頭の講和に、参加されたYEGメンバーも聞き入っていました。

【取材担当:岩佐 勝】



第22回ふくい春まつり

「桜華絢爛春絵巻」越前時代行列に参加!

(07.04.14)

第22回ふくい春まつり「桜華絢爛春絵巻」のメインとなる越前時代行列が14日(土)に開催。福井YEGは福井市清明地区の皆さんと一緒に「越前松平軍」の幕末明治隊として参加しました。

当日の天候は時折小雨が混じる曇り空となりましたが、俳優 沢村一樹氏の人気もあってか県庁前から大名町交差点、足羽河原までかなりの人手で賑わいま

た。我が隊は派手な籠や神輿を担ぐ演出はありませ

んでしたが、個性豊かな面々が一列縦隊で行進。時折、橋詰委員長らが扮する農民が物乞いをするパフォーマンスで笑いを取ったり、西武前では奇術師 松旭堂天一のマジックショーなどを披露して見せ場をつくりました。

終着地点近くの九十九橋では不意打ちで医者笠原白翁(岸本潔武君)に刀を持ったチャンバラ隊が襲いかかり「何で俺やねん!!」の叫び声も飛び交う中(笑)、参加者それぞれが楽しんでいました。

私自身も今回、岩佐又兵衛という江戸初期の絵師に扮して初参加。大勢の人通りの真ん中を歩くのはなかなか気持ちがいいのですが、「衣装が見た目の割りに寒い!」「トイレはしづらい!」「草履は雨で染みてきて足は冷たい!」と昔の人の苦労をほんの少し体験できました。

時代行列の最後は大勢の観客が集まる足羽河原の舞台に移動、富田君扮する坂本電馬らが練習を重ねた幕末のエピソードを熱演して会場の人々の注目を浴びていました。

今回参加されたYEGのメンバーもまた共に参加していただいた清明地区の方々本場におつかれさまでした。

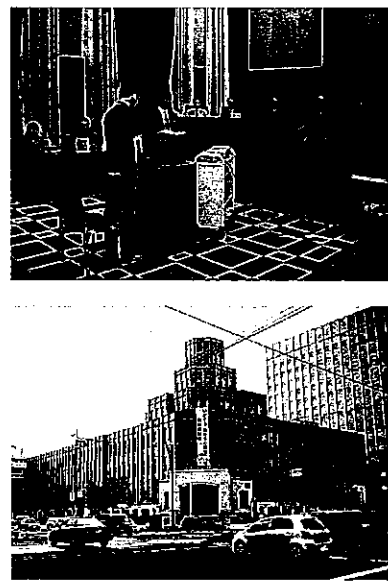
【取材担当:今井順也】



5月例会

情報の和委員会(松岡委員長)が担当する5月度例会を23日(水)18時から福井地方裁判所にて開催。平成21年5月までにスタートする「裁判員制度」について学びました。今回は裁判官から直接話も聞きました。制度がスタートし、自分が選ばれた時は是非やってみたいと思いました。例会参加者の中にも、以前よりも考えが変わった人、制度に関心を示す機会となった方が多かったのではないのでしょうか?

【取材担当:上松悦志】



6月例会

ふくいの和委員会(藤井委員長)が担当の6月度例会を27日(水)18:30から福井商工会議所ビルにて開催。今例会は大鼓持ち ありい氏を講師にお招きして「会話から会輪へ」をテーマにご講演いただきました。簡単にいえば男の芸者さん。お茶屋さんや料亭・旅館・ホテルなどのお座敷にて、お客様の間、芸者衆の間、お酒の間など、お座敷遊びの全ての間を助けて、楽しくその場を盛り上げることをするのだそうです。話の中で、物事には必ずルールがあること、商売は

お客様の立場に立つ事、また普段の生活にとっても関りある事柄を、面白おかしく話していただきました。自らを振り返ると反省すべき点が結構あり、また納得の連続でした。

【取材担当:上松悦志】



「福井学」推進事業

オープニングイベントに参加しました

(07.06.16)

福井市が推進する「福井学」のオープニングイベントが16日(土)13時からAOSSAにて開催されました。福井YEGは当単会事業に関して10~15分間のプレゼンテーションとパネルの展示を行いました。

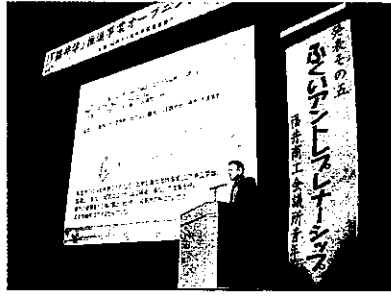
「福井学」とは市の教育委員会が中心となり、福井の様々な分野を再認識し地域づくりのエネルギーにしていこうというもので、「市民が主体となった心豊かな地域社会」を創造していこうとする運動です。

オープニングセレモニーの市民の発表では村中会長が「アントレプレナー



シップ」事業を中心に青年部の活動についてプレゼン。会場を埋め尽くした沢山の観客に多少緊張している感はありませんでしたがパワーポイントを駆使した素晴らしい内容で市民の皆様へ青年部の活動をアピールすることができたと思います。また展示ブースでもYEGコーナーを設置しました。

【取材担当:伊藤洋一】



地域活動に邁進する青年部は今後もこのような市民運動に積極的に参加し、日頃行っている事業をアピールしていきたいと考えています。

7月例会

今回は7月7日の七夕の日に開催ということもあり、四季や情緒を感じながら福井市の中心市街地を散策してもらおうという企画で、各単会が混合で数名ずつ、計11のチームをつくり街中を歩きながらデジカメで福井の歴史や文化、市街地活性化の鍵となるものなどを撮影してもらいました。

チェックポイントとして福井駅東口の新名所「AOSSA」、中心商店街にあるガレリアポケット、福井市の礎となった北の庄城跡(柴田神社)、の計3箇所を経由しながら各々のチームが心惹かれた場所をカメラに収めていました。また、複数のチームが何故か村中会長の甘泉堂に集結して和菓子をご馳走になるというハプニングもあり、参加メンバーは楽しめたのではないのでしょうか。およそ1時間20分の市内散策後、織協ビルに戻り、それぞれのチームに写真と合わせて福井市街地を散策した感想を発表してもらいました。



またコメントとして駅前商店街から3名のゲストを招き、現状の福井市の課題や将来の展望をお話いただき、市街地活性化を考える上で大変有意義な時間となりました。その後の懇親会では食事をしながらメンバーに七夕の短冊に込めた願いを壇上で発表してもらったなどの企画が行われ、清川君(人の和委員会)の名司会によりユニークな願い事が場内の爆笑を誘うなど、終始和やかな雰囲気です。単会交流会は幕を閉じました。

【取材担当:今井順也】

8月例会

18日(土)・19日(日)の両日、坂井市丸岡町のたけくらべキャンプ場において会員の和委員会(五十嵐委員長)が担当する夏レクレーション(8月度例会)を開催しました。こんな近場にこんないいキャンプ場があったんですね。私が着いたときには、すでに飲みはじめている人がチラホラ。帰りを気にせず飲めるのはいいですね。杖をついた(凝った演出のつもり)五十嵐村長のあいさつとあと、テントを貼り、もういつ倒れても大丈夫。スイカ割りや宝さがしなど、大人も子供もみんな子供になって盛り上がりました。その後、みんなで食事の用意。宇野さん(人の和委員)が北海道から仕入れてきたとうもろこしとホタテは驚きのおいしさ。定番のカレーもちゃんと作りました。夜は、キャンプファイヤーと花火を楽しみ、子供が寝た後は、大人の間。みんな何時まで飲んでいたのでしょうか?先につぶれた私は、翌朝、みんなからイビキがうるさかったと怒られました。ラジオ体操も久しぶりにやりました。定番をかかさず、大満足のキャンプでした。会員の和委員会のみなさん、ありがとうございました。

【取材担当：松岡 茂】



第54回福井フェニックス祭りにおいて「縁遊座」を開催しました

(07.08.04)

第54回福井フェニックス祭りが行われた4日(土)16:00から、福井地方裁判所前の桜通りにおいて「縁遊座」を開催しました。

当日は13:30にYEGメンバーが集合し、各委員会ごとにブースの設置作業を行いました。PKゲームコーナー併設のわた菓子屋、昔懐かしの駄菓子屋さん、かき氷やポップコーンを自分で作れる食体験コーナー、フェイスペインントetc.、それぞれの委員会がアイデアを出しあったユニークなブースが並びました。

事前告知のいかいあってか16時のオープン前からチラホラと子供連れのお客さんも訪れ、19時頃には各ブースで賑わいのピークを迎えていました。特に巨大スクリーンを使ったOXゲームでは、村中会長自ら司会を行い、親子で多数の参加者を集めて盛り上がりしていました。私はPKコーナー併設のわた菓子屋を担当。次から次へとお客さんが訪れ、わた菓子作りが間に合わない状況が続きました。おかげで最初は慣れなくて不恰好なわた菓子ばかり作っていたのが、後半には短時間で割りと形のいいものが作れるようになりました(笑)

隣で売っていたドリンクも20時前には完売!薄利多売ですから商売として成功したかどうかは置いて、



大きな目的であった「親子が楽しめる空間」を作る趣旨は達成できたんじゃないかと思えます。当日参加したYEGメンバーは46名ということで、多数のメンバーが一致団結して大盛況で幕を閉じたお祭りでした。

【取材担当：今井順也】

9月例会

会員事業所の仕事の内容を紹介・体験してもらい、仕事の厳しさや働くことの素晴らしさを伝える「おしごと探検隊 アントレ・キッズ」を9日(日)、坂井市春江町の福井県児童科学館(エンゼルランドふくい)にて開催しました。

アントレ・キッズはYEG会員自らが、仕事の厳しさ、働くことの素晴らしさ、物づくり、サービス業の面白さを伝えることで将来を担う子どもたちの仕事に対する夢の幅を広げ、人材育成をはかりたいと企画したものです。

今回は人の和委員会が中心となって、橋詰実行委員長、宇野副実行委員長及び影の実行委員長、山本清美君など多数のスタッフが長期間にわたり入念な準備を行ってきました。また初の試みとして春江町商工会からも講師として4社参加してもらい、計15社が講師として参加となりました。四百人弱の子供たちに参加してもらい、大きな事故



トラブルもなく事業を完了することが出来、本当に良かったと思います。

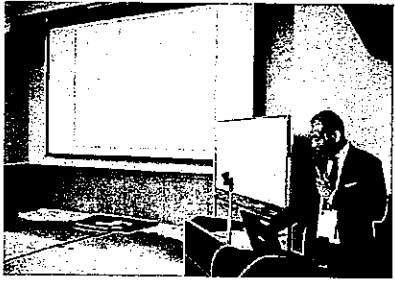
また、当日他の事業があったにもかかわらず会員の大半数にご協力いただいた春江町商工会青年部の皆さん、本当にありがとうございました。

【取材担当：今井順也】

10月例会

24日(水)19:00から総務委員会(山岸委員長)が担当の10月度例会を福井商工会議所ビルにて開催しました。講師に、社会保険労務士の松田将裕氏、税理士の松岡茂氏を迎え、労務と会計について講義していただきました。いずれも実務に活かせる内容で、企業経営者である会員たちは、興味を持って聞き入っていました。両氏は、ともにYEG会員でもあり、参加した会員たちは、気軽に質問をしていました。こういうつながりは、YEGのいいところですね。どんどん広げていきたいものです。

【取材担当：岩佐 勝】



愛宕坂のライトアップに協力

(07.10.19-21)

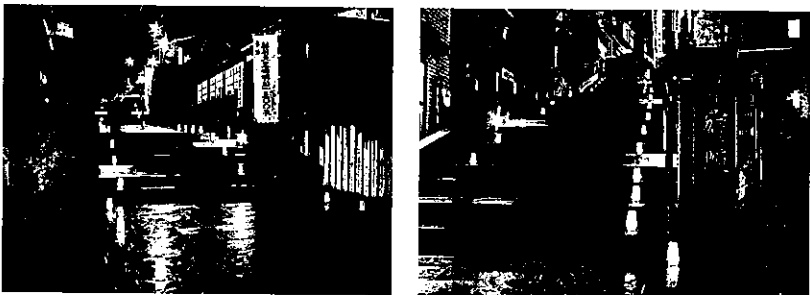
19日(金)~21日(日)の3日間 17:00~20:30の時間で実施された愛宕坂のライトアップ協力をふくいの和委員会(藤井委員長)が中心となって行いました。

今回のライトアップは「まちづくりフェア」と併せ「継体天皇即位1500年記念事業 古代を偲ぶ月・灯り」の中で実施。福井市 歴史のみち整備推進課、(財)歴史のみえるまちづくり協会と協力して行いました。

春のライトアップには行燈を使用しますが、今回は450個のLEDキャンドルを使用。愛宕坂から足羽神社の境内まで設置しました。140段の階段に設置、巡回、撤収するのはかなりの重労働。それでも参加した委員会メンバーで分担して行いました。

19日(金)・20日(土)とあいにく雨模様となりましたが19日(金)に行われた夜間景観ウォークに参加された方々、3日間にかけて愛宕坂美術館で開催されたイベントに参加、また料亭に食事に来られた方、旅行や散歩で立ち寄った方々に幻想的な雰囲気を見ていただけたと思います。

【取材担当：菊 祥行】



桜並木の清掃活動を実施

(07.10.27)

11月中にも一部伐採作業が行われる足羽川河原の桜並木に感謝の意味を込め、商いの和委員会(松井委員長)が中心となり、27日(土)9:30から木田橋~新明里橋間の桜並木沿いの清掃活動を行いました。

あと少しで現状の桜並木も見れなくなるといふことは知っていましたが、とうとう来たかという思いを感じながら、今回の桜並木の清掃活動に参加させていただきました。

拾いはじめると、あるわあるわ、たくさんゴミ。あんなものから、こんなものまで。しまいにテレビのアンテナまで捨てられていました。作業中には、桜並木を散歩の方々より挨拶されたり、声をかけられたりと嬉しい気分にもなりました。みなさんの普段の行いが良いせい(?)か、心配されていた雨もなんとかがあがり無事終了。参加していただいた会員メンバーの方々御苦労様でした。

【取材担当：上松悦志】



新入会員 オリエンテーションを開催しました

07.10.12

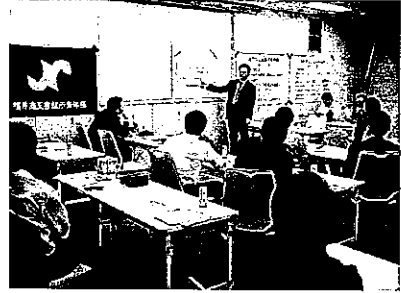
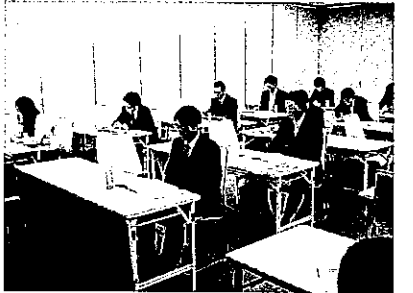
今年度の新入会員を対象とした新入会員オリエンテーションを12日(金)19:00より会員の和委員会(五十嵐委員長)が担当して福井商工会議所ビルにて開催しました。

今回のオリエンテーションには4月度から10月度までに入会された新入会員12名が参加。最近はプロック大会等の道中で開催することが多かったのですが今回は会議所で行いました。

会長挨拶では歓迎の挨拶とYEGとしての気構えについて、清川君からは創立30周年記念誌を資料としながら青年部のこれまでの歩みについて、宇佐美直前からは日本YEGや福井県連等の組織について、各担当副会長からは担当する各委員会の取り組みについてそれぞれ説明を行いました。

その後行われた山岸総務委員長からの「規約・規律について」では、テレビ番組からヒントを得たという青年部規約を虫食いでお題。分り易く、厳しく解説をしていました。場所を移して行われた懇親会にも新入会員の方々は積極的に参加。堅苦しい(?)オリエンテーションからも開放され、懇親会から参加の現役メンバーと一緒に交流を深めました。

【取材担当：菊 祥行】



11月例会

28日(水)

19:00より福井商工会議所ビルにおいて人の和委員会(橋詰委員長)が担当の11月度例会を開催。福井キャンパンス務機株式会社 玉木 氏を講師としてお招きし、交流を行っている加賀YEGからもメンバーの方々が参加していただきました。

講演は、まず「みなさんは何のために働くか?」という問いから始まり、隣同士で話し合ったり、玉木社長が壇上から降りてこられて参加者に質問したりと、とても和やかな雰囲気です。

福井キャンパンス務機(株)が2006年度の日本経営品質賞を受賞された事例を参考に、どのようにして会社、従業員の意識改革を行い、そのことによって、どのような変化があり、そして成功に導かれたかを聞きながら今後自社でどのような事に取り組みめるかのヒントをいただき、大変面白く、充実した講演でした。

【取材担当：八木 寛】



12月例会

(日) 12:00

より福井商工会議所ビルにおいて開催しました。今回はレクレーションということで、会員

G会長の内藤康氏を迎えました。最初に内藤氏から小浜の塗着について講義を受け、そのあと全員で著作りに挑戦。

丁寧な説明を受けましたが、みなさんなかなか筆に手をつけず、他の人の様子がかがうばかり。数人が筆を削って模様を出したのを見て、みんな一斉にもくもくと作業に集中していました。その様子は、まるで子供のような(笑)できあがりも、それぞれ個性がたますね。楽しそうでした。

【取材担当：松岡 茂】



YEG逸品

桜の木の皮剥きを行いました

08.01.12.14

12日(土)、14日(月)の両日、会員事業所である宇佐美材木にて桜の木の皮剥き作業を行いました。現在商いの和委員会(松井委員長)が進めている「YEG逸品」の事業にて「足羽川の桜並木を使って箸をつくる計画」が進行中。今回はこの原材料となる桜の製材作業のお手伝いという形です。

桜の木を箸に製材するためには、樹皮を剥いてから切断作業が必要があります。これは堅い樹皮がついたまま製材用のノコギリを使うと破損してしまう恐れがあることや、細かく切断していく際に皮をとって

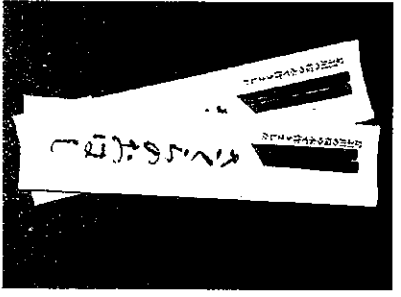
木目の流れを目で見ている必要があるためです。

この皮剥き作業は地道に斧などを使って手作業でやるほかに、参加したメンバーは宇佐美直前会長の指示のもと、コツコツと少しずつ作業を進めていきました。

両日で計10名のメンバーが参加し、斧の使い方も上手で作業の早い某メンバーは「これで再就職も安心やな」と周りからほめられて(?)いました。

予定通り皮剥き作業も終了。参加したYEG会員それぞれが箸作りに関わっていくことが出来たのは非常に有意義な体験だったと思います。皆様おつかれさまでした。

【取材担当：今井順也】



2月例会

2月

2月度例会を兼ねて福井県商工会議所青年部連合会会員大会に参加しました。今回は、大野の学びの里「めいりん」で行われました。「めいりん」は、大野公民館、有終西小学校、生涯学習センターが入る複合施設。大野らしい平屋で、建物を正面に見上げると、見事に大野城が見える趣のある会場でした。臨時代議員総会、記念講演、大会式典、記念事業が行われました。臨時代議員総会は、無事全議案が満場一致で承認され、次期役員が紹介されました。記念講演は、地元大野出身、北陸コカコーラ(株)福井支社長 松田元栄氏を迎え、

族のみなさんとクリスマスパーティーを行いました。普段の例会とは違い、ご家族の皆さんも参加していただいたため、始まる前から会場の入り口にはぎやかでした。元気な(な)には過ぎる(笑)子供たちが走り回りました。しかし、会場に入ると例会セレモニーの緊張した空気が流れていました。それも乾杯まで。食事や飲みが始まれば、一気にみなさんリラックス。そのうちゲームやクイズが始まり、みんなの顔もいきいきと、笑いも絶えず、みなさん楽しそうでした。恒例の会長サンタが登場しましたが、泣き出す子供が続出。でもしっかりプレゼントはもらってました(笑)。

【取材担当：松岡 茂】



1月例会

23日(水)

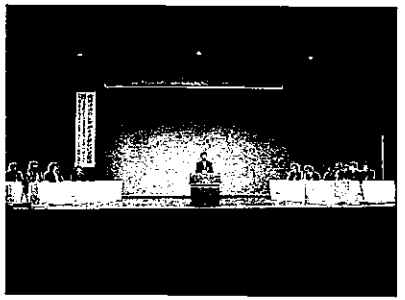
19:00より福井商工会議所ビルにおいて1月度例会(商いの和委員会(松井委員長)担当)を開催しました。

松井委員長から足羽河原の桜の歴史と福井YEGの関わりについて説明があり、切り落とされた桜の木が、もうすぐ箸になるとあって、寂しそうに聞く会員もいました。

今回の例会には講師として「YEG逸品 さくらのおはし」にも多大なる協力をいただいている小浜YEG

「地域の活力に参加する新しい企業像」と題し、貴社の地域への貢献活動を紹介され、このような取り組みが企業の人材を育て、大きな活力となると高話いただきました。

大会式典につき、記念事業は、各単会が自慢の事業を紹介し、うぬぼれ度を競う「うぬぼれ大賞」でした。各単会趣向を凝らし、個性あふれる発表でした。福井YEGは、おしごと探検隊「アントレ・キッズ」を紹介し、7単会中4位の平凡な成績でした。うぬぼれ具合が足りなかったようです。もうちょっとがんばって企画すべきだったと私(情報の和委員長)反省いたしております。その後、大懇親会が開かれました。懐かしい給食メニューが並べられ、ゲームも満載で盛り上がりました。今回会場となった大野YEGのみなさんのおもてなしには、本当に感動しました。心からお礼を言いたいと思います。来年はもっと多くの会員が参加されるといいなあと思いました。



【取材担当：松岡 茂】

平成19年度を振り返って

和魂福彩考査室



室長 牧野利幸

「これまでの事業が終われば事業終了の考え方に変化をつけたい」「各委員会が各種事業を組み立てて行く中、事業後に企画者自身が企画構築からプロセス、結果も含め、事業の振り返り、検証を行う事で以後のYEG活動の発展、充実に繋げたい。」そんな村中会長の熱い想いを受けて創設された和魂福彩考査室。問題意識を持った発展的取り組みに指名を受けた宇佐美竹下、友田、牧野の4名は「なりきる、やり切る、思い切る」の気概で「こじゅうと軍団」と化し、その役割を演じる事に取り組んだ19年度でした。事業直後の役員会にて第三者的視点を持って、事業構築を進める上でのポイントの指摘や視点の持ち方、課題への取り組み方など、至らなかつた点を講評として遠慮なく言い放ち、気を悪くされた会員も多かつたはず：「切捨て御免。」与えられた役割ゆえ、愛されるが上の事、ご容赦願いたい。しかしながら、「切捨て御免」と言いながらも、室メンバー各位とも真面目にそして真剣にこの職務に取り組んだ事は真実であり、ひとたび室会議が始まると様々な視点論点の意見が噴出。12時を超えても多かつた中で「事業企画の方がよっぽど

総務委員会



委員長 山岸範之

「やまちゃん、総務委員長やってくれー！」という突然の要請を受けて始まった平成19年度。一応、嫁さんの考えを聞こうと、「総務委員長やってくれ言われたん。どないしょ？」という私に、「どうせやるんやろ。考えても一緒やん」と、全てを見透かした嫁。こうして、平成19年度総務委員長という大役を引き受けることとなった。 思えば、青年部入会してはや4年目、総務委員会以外に所属したことないので当然の成り行きといえれば成り行きかもしれない。で、「総務委員会って具体的に何するん？」と、イマイチ良く分からない私は職務分掌を一から読んで勉強を始めたのでした。 ます、最初に私が始めたことは、1年間に予定されている総務委員会の行事をピックアップし、それに対

人の和委員会



委員長 橋詰英知

19年度は、慌しく過ぎ色々な人と交流出来たように思います。なんせ人の和委員会ですから(笑) 4月の時代行列。偉人達を参加者・観客を知って頂く企画。我々の明治偉人隊に他団体(清明公民館)と

のコラボを企画。初心に戻り明治偉人の勉強会を開き、観客には偉人紹介のピラ配り偉人達を知って頂ける場が出来て良かったです。 9月のアントレ・キッズinエンゼルランド やがて大人になっても好奇心のアンテナを失わず、子供達の好奇心を仕事に結びつける為の選択肢として「アントレキッズ事業」を提供し、親子で考える機会の場エンゼルランドで開催し、また地元企業(春江商工会)とのコラボ。 次年度の担当委員へ 色々な人と交流は勉強にもなるし、我々YEGの存在を知って頂ける機会だと思います。頑張って20年YEGに期待します。

商いの和委員会



委員長 松井良平

著・著のことばかり考えていた一年でした。商いの和委員会の今年度最大の事業である「YEG逸品」事業。4月当初は何をしたら言いかわからず、委員会内でも意見がまとまらず本当に事業として成り立っていかぬ不安でいっぱいでした。 その中でYEGの過去の活動や、地域の課題などいろいろ議論をしていくうちに「桜」・「箸」というものにとり着き、委員会として起動に乗り出し進んでいったことは、良い委員会メンバーに恵まれたおかげだと思っております。

会員の和委員会



委員長 五十嵐嘉紀

タイトル【会員の和委員長 会員の和委員の皆さんへ】500文字以上(笑) 或る日の夜、某寿司屋で社員全員で会食していた時に私の携帯が鳴った、「来年の委員長をお願いしたい、新入会員のみに入れる委員会担当の？」との連絡があったが、深い話を根回しもないままの唐突な話だったので、訳も判らず、私も「会って話を聞いてみないと」とのこと、早速、執行部が集まっているところに行くことにした。そこにいるのは、正しく、直前会長+執行部のみの私なんかでは、場違いな場(笑)ではあったが、村中会長の理念、思いなど聴いているうちにイガ一流でも出来そうだったので、引き受けることにした。(笑)担当の水元副会長も知人の1人で

して副委員長を筆頭に各委員を割り当てるという作業でした。こうすることによって、年度当初から自分のやるべき仕事について心構えしてもらっておくこともに、委員会に出ている人ばかりに仕事が偏らないようにとの配慮をしました。それが今も上手く機能しているかどうかは判りませんが：

それから本格的に平成19年度が始まり、執行部会、役員会、委員会、例会と目まぐるしい日々が続いて、気がついたら残りわずかとなってしまいました。今思うと「あの時こうしたらよかった。」とか、「あれは失敗やっだな」とか、色々反省点が出てくるものです。が、1つ言えることは委員会の運営にあたって各委員の皆さん、特に副委員長の2人の協力が不可欠ということ。今共、松田副委員長を初めとする委員の皆さんが未熟な私をサポートして頂いたからこそなんとか1年間乗り切れたと思っています。

今後はこの経験を糧に仕事や青年部活動等に活かして行きたいと思えます。1年間、ありがとうございます。

はあったが、特に深く付き合うこともなく、気にかかっている方の1人であったが、1年間、膝を突き合せさせて頂いた結果、本当に興味がある方になった。これからも相手して下さいね。(笑) 水元副会長、濃い1年間ありがとうございました。

そして、人事。私は2回目委員長だが、今回は若い、山田、佐々木副委員長とスクラムを組むことにした。これは今になってよかったと思うが、この委員会のフットワークのよさはズバ抜けていたと思います。山田君、佐々木君、1年間ありがとうございました。来年からはおゆっくり：出来ないか？(笑)そして、委員会が始まり、最初6名からの出発、右も左も判らない会員がこの委員会のみが増えていく、結構これは私にとってもプレッシャーではあったが、今年の新入会員のスキルの高さには圧巻させられた。今になって気づいたことだが、今年度の新入会員については紹介や交代にて入会してくる会員よりも自発的に入会されてくる方が多かつたこともあり、村中会長もよく言っておられた、「求められる青年部になる」正しく、自分から求めて入会された方が多かつたのもあり、この委員会の事業は、新入会員がサブではなく、現場の最先端で関わってもらおう、身体で感じてもらう様な形式で実行した。縁遊座においては、青年部唯一のアドバンズレーンで人を動員する(巻き込む)企画、坂田、村上委員が企画、運営、そして、プロも驚くあの台本、すばらしかったです。そして、キャンプ、クリスマスでは、会員、そして家族を巻き込んだ企画、特にクリスマスでは、参加出来なかつたメンバーの方も裏方で関わり、全員野球が出来ました。久野、朝田、柳町委員ナイスです！最後にあじさい会(OB)との交流会においては、今現在、同期生の集大成といえる企画の真っ最中ですが、この様子では心配がないと思っております。それが伴ったかは判らないが、次年度の役員選出の中でも、6名の方が選出された。これから、いろんな分野の

委員会へ果立って行く。あらゆる方面で力を発揮して欲しい。私自身も1年間とていい経験をさせて頂いたと思う。これからも、いつでも何でも聞ける兄貴分であられたらと思ってるので、誰でも気軽に声を掛けて下さい。そして、このような経験をさせてくれた青年部の皆様、ありがとうございました。



委員長 藤井紀光

1年を振り返って見ると、対岸から眺め楽しむ桜堤を伝えようと考えた「春祭り企画案」に始まり、会話から会輪へと青年部という街のまちづくりを目指し「6月度例会」、フェニックス祭りにおける家族で楽しむ場の必要性を検証する為に「縁遊座」を、アントレ・キッズinエンゼルランドを後押ししつつ、開催する側の現場の声を集める為に「9月度例会アントレ・キッズ」、集まった声を本年度作成予定の「マニユアル」に反映させる為に「アントレキッズの検証委員会」を、光によって作られる導線の有効性と夜景の可能性を感じて「夜景を活かした魅力あるまちづくり企画」を行い、次年度の春祭りへの参画の可能性を模索し、中心市街地活性化を考え、人が集まる福井駅前を考える「市民の広場」を開催しました。

長いようで短い1年間でした。ずっと時計の針に追いつかれていたようにも思います。でも、まちづくりと、故郷と、こんなに向き合った事は今まででありませ

委員会の和

んでした。まちづくりは未来を創る事だと思っています。社会の未来を創り、その中で一人一人の未来を創っていく。過去を非難するのではなく、また自分だけの未来を考えるのではなく、皆の未来を考え今出来ることを行なう。この考えをベースに1年間多くの人とまちづくりについて話をしてきました。一人一人の生活環境や価値観によってまちづくりへの考え方は違います。福井には271、062通りのまちづくりがあるのです。そんな中、青年部が行なうべきまちづくりとはなんなのか、正直今でも答えは見つかっていません。いつの日かチャンスがあれば1年を通して青年部内のまちづくりを皆で考えたい。事業を行なうのでもなく、また意見をまとめるのでもなく、納得いくまで議論したいと思っています。

最後になりましたが、1年間を通してがんばってくれた委員会メンバーとお力添え頂いた会員の皆様に心からの感謝と次年度への希望を託し委員長の役を終えさせていただきます。

1年間本当にありがとうございました。

情報の和委員会



委員長 松岡茂

仕事で出られないなら、役員会でなくていいから。そんなに大変じゃないから。そんな類の甘い言葉には、十分気をつけなければいけません。役員会、本当に欠席多くてすみませんでした。しかし、意外と楽しかった。

たです。やはり、何事も受け身では楽しめません。自分から積極的に参加してこそ、楽しいのです。そして、何事も悔るなけれ。全力をつくさなければ、必ず後悔します。これが、この1年のYEG活動で学んだことです。5月例会、準備期間が短くてもみんなで協力し、裁判所での例会を企画しました。終わってみて、まだできることがあった、と反省しました。例会扱いの大会での会員大会、移動手段の確保だけと油断していたら、直前になって記念事業でうぬぼれ大賞の発表準備が必要となり、大した企画もできないまま発表してしまっ。もっと早くから準備すればよかったと、この会報づくりにも追われています。もっと、全力で準備できていたら、もっともっと楽しめたのに、と反省することはばかりです。しかし、こんなダメ委員長を委員のみなさんが助けてくれたおかげで、低空飛行ではありましたが、1年間を終えることができました。また、当委員会の委員の多くが次年度の役員になられていることは、みなさんがいかに活躍したかを表していると思います。心からお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。



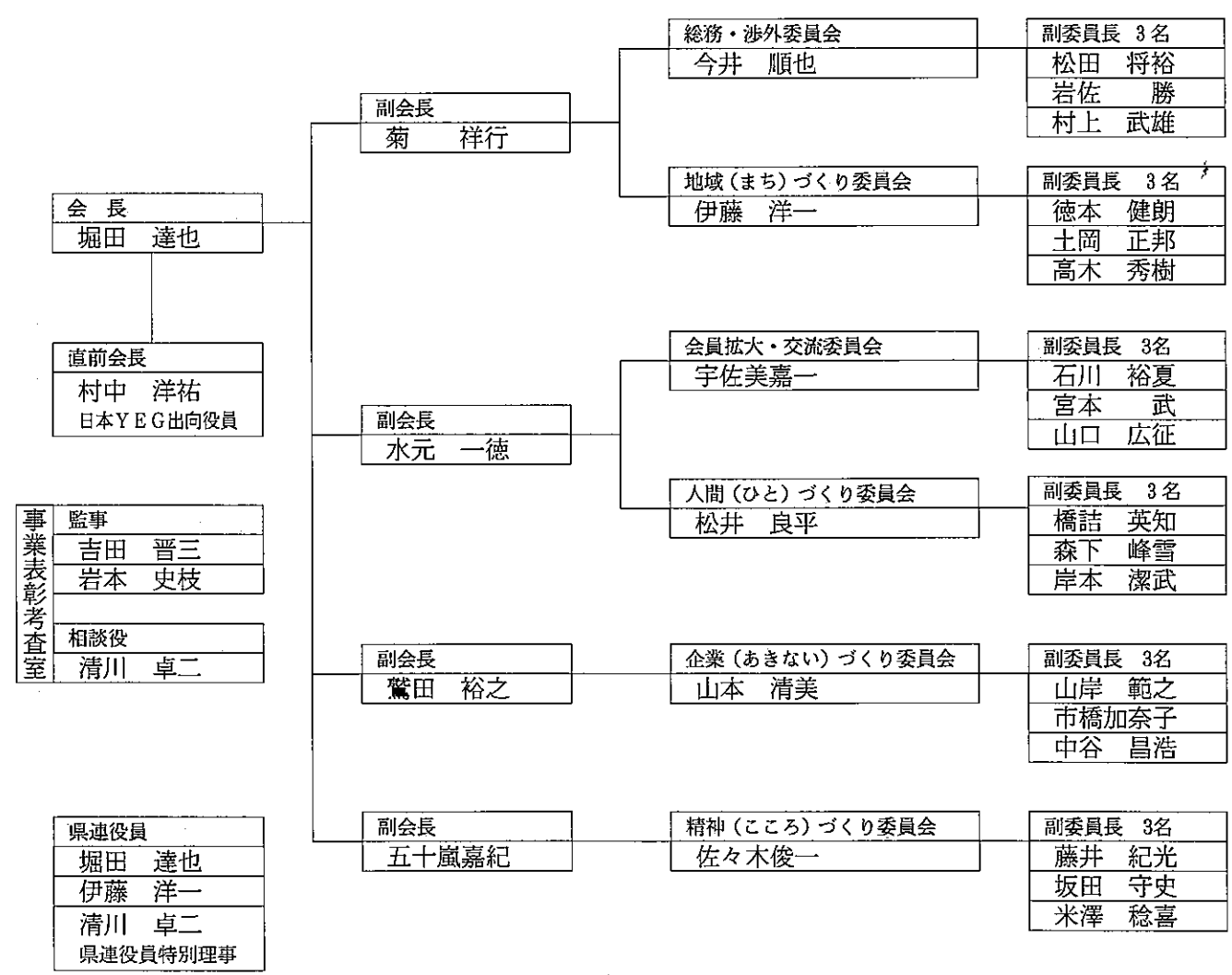
次年度会長あいさつ



平成20年度会長 堀田達也

平成20年と言う節目の年に、伝統ある福井商工会議所青年部の、会長職を仰せつかった、堀田達也でございます。私は本年満45歳となりますので、本来であれば卒業年度にあたります。しかし、改めて卒業間近に会長職を受ける決意をしたことには、二つの理由があります。一つには、記憶にも新しいかとは思いますが、平成16年度に発生した福井豪雨の際、私の事業所は惨たんたる被害を受けました。その際に、当時まだ入会したばかりの私の事業所へ、青年部会員が続々と駆けつけて頂き、笑顔で淡々と復旧作業に手をかしてくれた姿に「将来必ずこの人たちに報いたい。」という想いがあつたからです。もう一つは、私が誇りに思っているこの素晴らしい青年部活動で、「もっと大勢の会員が、誇りに思える青年部になっていきたい。」という想いがあつたからです。平成20年度のスローガンは「威風堂々YEG」と掲げさせていただきました。YEG会員は社会に対しても、仕事に対しても、常に自身と誇りを持った行動を取っていただきたいとの願いです。私自身、自分を支えていただいている多くの人たちに恥じないよう、立派な行動が取れるよう心掛けて行きたいと考えています。今年一年どうか宜しく願います。

平成20年度 福井商工会議所青年部 組織図



総務・渉外委員会



委員長 今井 順也

入会2年目となり、一度副委員長を経験させていただいてよく分かった、会長はじめ副会長、委員長の方々の頑張り。

これまでどこか他人事のように感じていましたが、まさかの委員長の大使を仰せつけることとなり、不安と期待が半々といった感じでした。

しかし引き受けたからには妥協無しでやりたいと思っています。総務・渉外はYEGの車輪を回す重要な裏方仕事。目に見えない仕事盛り沢山です。全ての会員が楽しく事業に参画でき、「良い1年だったなあ」と振り返ってもらえるように委員一同でサポートしていきたいですね。

地域づくり委員会



委員長 伊藤 洋一

まちづくり委員長という大役を仰せつかった伊藤洋一です。

委員長として今なにかと話題のまちづくりに参画することに多大な意義を感じると共に身が引き締まる思いです。

今現在、あらゆる分野で構造改革がすすみ、また今後より一層、少子高齢化がすすむと予想されるなか私達の暮らす「地域」のあり方、「まちづくり」のあり様が大きくクローズアップされています。

商工会議所青年部として単に中心市街地を活性化するという切り口でイベントに参加するだけではなく「これから必要とされる、まちづくりとは何か?」を模索し、「青年部としてどうまちづくりに貢献できるか?」という概念を構築した上で内容のある事業を行

企業活動推進委員会



委員長 山本 清美

今年1年、企業(あきない)づくり委員会委員長を務めさせていただくことになりました。

メンバー企業同士の情報交換、知識・技術の向上を委員会一丸となって切磋琢磨しながら、楽しく充実した事業になるよう一生懸命取り組んでいきたいと考えております。

1年後にはYEGに入会して成長したなあ、仲間がふえたなあ、楽しくてまた参加したいと思えるメンバーが増えている事を目指して精一杯頑張ります。1年間、よろしくお願いいたします。

会員拡大・交流委員会



委員長 宇佐美 嘉一

YEG活動の基本は人であり会員相互が密接に連携していかなければならないと思います。当委員会は「心」触れ合う環境づくりの

一環として親睦・交流事業の企画・運営を行なってまいります。会員本人だけでなく家族の方々とも楽しみながら活動できる事業も企画してまいります。

また心の交流を多くの人と行うためにも、新入会員

人間関係づくり委員会



委員長 松井 良平

まさか・まさか2年連続で委員長を受けるとは思っていませんでした。

しかも新境地の「アントレキッズ」を受け持つ委員会とは・・・ですが、注目度が高いアントレキッズを受け持つことができ新たな方向性を模索し、世の中に誇れるものにしていきたいと思っています。

精神(メンタル)づくり委員会



委員長 佐々木 俊一

平成20年度スローガン、「威風堂々YEG」地域リーダーとしての責任を自覚しよう。」

この言葉を聞く限り、当委員会に求められる役割は非常に大きいのではないかと、勝手ながらそう認識しています。

大は全体事業から小は個々の委員会まで、YEGとしての活動自体が自己研鑽の場であるという考えのもと、YEGにいることの意義や目的について今一度気付き、また思い出せるような活動を展開していきたいです。そして一人一人が自然に、自発的に、「当たり前」前のごとを当たり前のこととして「行うようになるきっかけになれば」と思っております。

1年間、どうかよろしく申し上げます。

新入会員紹介



關イー・ツー 中谷 昌浩

關イー・ツーの中谷です。昨年6月に起業いたし、8月に福井県情報ポータルサイト「モットふくいPC版」10月には「モットふくいモバイル版」のサービスを開始いたしました。2人で始めた会社が一人またひとり個性豊かな人材が増え、いまでは総勢10名となりました。みんな本当に生き生きと仕事に取り組む様に、事業の勢い・力強さを実感いたすとともに、代表を務めさせて頂けるこの環境に幸せと感謝の気持ちでいっぱいです。



村上大理想石 村上 武雄

心のやすらぎをお届けします。村上大理想石の村上武雄です。当社は創業87年を迎え、「社会が必要とすることをやる、社会が必要とする会社になろう」の方針のもと、墓石をはじめ神社、寺院、高層ビル、一般住宅などあらゆる石工事を、地域に役立つべく展望をもって事業に取り組んでいます。

外委員会に所属予定なので、縁の下の力持ちになれるように頑張りたいと思います。



關福井開発ビル 久野 真

平成19年9月に入会いたしました久野真と申します。關福井開発ビルに勤務しています。業務内容としては主に当ビルの貸し室・駐車場の賃貸業になります。築年数が経っていますが、中心部のビルに負けないビジネス環境・サービスのご提供を目指しております。貸し会議室もあり、青年部の皆様にもご利用いただけます。弊社HP ↓ <http://www6.ocn.ne.jp/~fkd/> 毎月例会・委員会に参加させて頂きました。全てが勉強になることばかりであり、青年部の活動のすばらしさに驚きました。



關レントオール福井 竹内 浩一

弊社は、イベント関連商品の総合レンタルの会社でございます。皆様には、平素よりご愛顧いただきまして、まことにありがとうございます。本年は、特に、展示会用品に注力していく所存です。首都圏ではすでに「ECO」をキーワードにイベントに関しても廃棄物の出ない、システムパネルを主力としています。地方では、まだまだ認知されておりません。レントオール福井では、「イベントECO」を発信していきます。昨年は、仕事との兼ね合いで、委員会、行事になかなか出席できませんでした。本年は、時間の許す限り、積極的に参加し、皆様との親睦を深めてまいりたいと思います。



關ネットシステム 細江 能史

福井県内の企業はもとより、北陸、東京の企業に対しシステムを開発提供させていただいております。これまで関東での活動が多く、県内の行事に参加した経験があまりなかったせい、青年部に入会して委員会、例会等の行事に参加したときに新鮮さと改めて自分の郷土というものを考えられたような気がしています。初年は会員の和委員会として活動に参加させて頂きました。そこで経験したことを次の委員会でも生かして行きたいと思っております。昨年よりもYEG行事への参加率を上げながら・・・。



關山口ネジ 山口 広征

皆様お疲れ様です。態度も顔も頭もか私ですがあらためて自己紹介させて頂きます。昭和44年生まれ38歳です。小学校で野球を始め、なぜかトランペットも吹いていました。よくは覚えていないのですが部活という以外にクラブ活動というのがある位で練習していた記憶があります。社会人になっても野球、ソフトボール、トランペットなどは続けていて福井県吹奏楽連盟一般部会理事、アイバンバス代表、NPO法人地域スポーツ協会理事、ふくい未来製作委員会副委員長・・・などを務めさせて頂きました。他にも法人会青年部や九頭竜ライオンズクラブ、吹奏楽団、ソフトボールチーム等、最高で9つの団体に所属しておりました。3年前に父親が癌である事がわかりそれまで所属していたすべてのサークルに休団の手続きをしました。私は早くに母親をなくし、父親と2人で過ごして来たので、父親の病名を聞いた時には本当に力が抜けました。仕事と看病で疲れてすべての活動を辞めようと思っていた私ですが病床の父親から「お前がいろいろやって頑張ってるのは俺の自慢だった」と言われもう一度いろいろチャレンジしてみようと思っ少しづつですが復帰しています。

YEGさんへは昨年8月のフェニックス祭り「縁遊座」から参加させて頂きましたまだまだ力不足で迷惑をお



米澤 稔喜

掛けしますが頑張りますので宜しくお願い致します。

平成19年10月に入会いたしました、会員の和委員会所属の米澤です。年齢は26歳、独身です。私が勤務している会社は森田にあります株式会社米澤物産です。当社は細毛織物の製造、卸売りをしております。具体的に言いますとカーテンやブラインド等、窓周り製品のパーツを製造、卸売りをしております。最近ではインテリア以外にもアパレル関係やラッピング関係、工業資材なんかもやったりして、もう何でも屋さん状態です。出荷場なんて行くといアンパマンの生地やワンピースなどいろいろな依頼の商品があります。是非、繊維の事で困りの事がありましたら、一度お声をお掛け下さい。ご期待に添えないかもしれませんが全力で頑張ります。

さて、青年部に入会いたしました4ヶ月が経とうとしています。期間は短いですが全国大会やクリスマス例会などいろいろなイベントに参加させて頂きました。何もかもが当然初めてでしたが、緒先輩方の優しいご指導のおかげで大変楽しく活動させて頂きました。いろいろなイベントに参加する事によって、新入会員同士の絆や先輩会員との繋がりが強くなったと思います。こんなペーペーな私ですが、次年度は精神づくり委員会の副委員長という大役を仰せつかりました。引き受けたからにはとことんやってみようと思います。気合い入れて頑張っていきますので皆様何卒よろしくお願ひいたします。



鈴木 秀昌

福井放送株式会社、ラジオセンター副部長の鈴木秀昌です。昭和42年3月23日生まれの40歳で今年は本厄です。妻と子供1人の3人家族です。趣味は、ゴルフです。FBCに入社以来、本社・東京支社でテレビの営業を担当し、現在はラジオセンターでラジオに関する営業の仕事をしています。ただ、ラジオは制作・イベントも全て担当なので、週末の休みもなくイベント



朝田 健一

私は、朝田健一と申します。年齢は32歳です。平成19年8月に入会させて頂きました。アサダモーターズで主に営業として活動しており、新車・中古車販売、車検、一般修理、钣金塗装、保険を取り扱っています。福井商工会議所青年部の印象としては、昨年9月の役員会に参加させて頂いた時のことですが、仲間としての結束力があり、活気のある会であると感じました。後、昨年の12月のクリスマス会では、会員の和委員会の中で企画・運営し、みんなで協力してやり遂げた達成感を味わうことができ、久しぶりにすばらしい経験をさせて頂きました。今年の抱負としては、例会には必ず出席して、少しでも会員の交流の中でいろいろな事を学んで実行していきたいと思ひます。



柳町 剛弘

昨年度10月にYEGに入会させて頂きました柳町剛弘と申します。私は、片町にあります「日本料理 懐石 やなぎ町」でマネージャーとして働いております。入会動機は、多業種の方々とい人脈を作りたい、自分の狭い視野を広げたい、福井の様々な事柄の流れを知りたいと、願望ばかりでした。入会したての頃は何も分からずただ先輩方に甘えるだけの状態でした。入会して4ヶ月がたち、少しずつなれていくにつれYEGで知り合えた先輩方のYEGに対する熱い思いというのを感じようになりました。まだまだ何も知らない若造なりに、先輩方と一緒に熱い思いを抱きつつ、熱く活動して行きたいと思っております。熱くなりすぎて空回りしてご迷惑をかけることもあるかと思ひますが、これからは何卒宜しくお願い致します。

業務で奔走しています。おかげさまで、FBCは今年開局56年目に突入り、キャラクターの「ピントン」をはじめ広く県民の皆様にご支持をいただいております。また、地上デジタルも順調に移行しつつ、「デジタル7チャンネル」への訴求にも力を入れております。また、2011年7月24日移行は、ラジオのデジタル化も控えており、かつプロロードバンドの急速な進歩で放送業界を取り巻く環境はますます厳しなものとなっております。これらを打破するためにもFBCは、ラジオ・テレビ兼営局として「地域NO.1のメディア」を目指してチャレンジし続けたいと思ひます。ご支持くださいますようお願いいたします。

今年入会をし「会員の和委員会」のメンバーとして1年がたちますが、業務にかまけてなかなか委員会への参加が出来ませんでした。どうもすみません。ただ、何回か出席した中での感想として、自分が仕事をしている上で会うことのないぐらい真っ直ぐで熱いタイプの人が多いという実感。職業柄、福井県の将来を考えなければならぬ立場にある人がいるということを感じました。抱負に関しては、企業を代表して入会しているの、来年度のことは未定ですが、継続になれば真剣に取り組んでみたいという気持ちになりました。本当に今年度は不甲斐なくすみませんでした。

弊社はデザインを主にしていますが、デザインは地域・企業・個人の未来がより明るくなる仕事と考えており、商品開発・企業のPRツール開発・地域づくり計画などの企画から実際のデザインまで総合的なディレクションを行っています。6月に入会しすぐにフェニックス祭の「緑遊座」事業を担当しました。入会したてでとまどいもありましたが、委員会ははじめ多くの人に支えられ参加することができました。今まで参加した事業を通して福井の一助になれたこと、事業を通して人と交流し多くの事を学び自身の成長につながっていると感じています。来年度の委員会では副委員長に任命され、今年の経験



坂田 守史

初めまして、株式会社タワー・アー・ティーの松村知枝です。弊社では、「健康」をキーワードに様々な事業展開を行っております。「ライブステーション」「まなびサイト」「THE BODY」の店舗展開をはじめ、インストラクターの派遣、コンサルティング、運動プログラムの作成など、ゆりかごから墓場まで、人々の人生をより豊かにし、健康やかに、より良く生きる為のサポートを行っています。7月に青年部に入会させて頂いた活動に参加する中で、様々な人との交流もあり、大変勉強になっています。また、直接街づくりに参加できることをうれしく感じています。今後も青年部での活動を通じ、我が故郷の「福井」の良さを肌で感じ、自己成長を目指したいです。



松村 知枝

9月に入会いたしました。澤田 真介(株式会社織工房風美舎)です。福井が少しでもよくなるようYEGの中で自分が出来る事を一杯頑張ろうと思ひます。また諸先輩方のご指導、ご鞭撻を承りながら社会人としても一回り大きく成長していきたいと思ひます。株式会社織工房風美舎では、法衣用織物やYOSA KOI衣装用織物また自社オリジナル製品の製造販売を行っております。カラミ織物を得意とし業界の中でも定評があります。小さな会社なので1から10まで全ての事をこなさねばならない為、忙しくはありますが時間を作ってはYEGに参加していきたいと思ひます。



澤田 真介

青年部に入部して1年で、まだまだだひよっこでございますが、がんばりますのでよろしくお願ひします。



辰川 昇

を活かして積極的に事業への参加と役員としての自覚をもって福井YEG活動に関わりたいと思ひます。



海道 雅俊

いつもお世話になっております。株式会社ナカテックの海道雅俊です。会社では営業をしています。会社の事業内容は自動化機械・専用機械の設計製作、化学・高圧ガスプラントの設計施工・検査や各種工場生産設備の保全・メンテナンスです。また、理化学製品、分析機器、化学薬品の販売や人材派遣等も行っています。プライベートについては、住所は坂井市、家族は妻と長男、次男、父母、祖父母、妹で、9人家族です。スポーツはサッカーをしています。最近は審判として試合に出ることが増えました。趣味はスポーツ観戦、旅行、飲酒です。ちなみに晩酌は毎日です。来年こそは積極的にYEG活動に参加します。飲み会にもたくさん出たいです。よろしくお願ひします。



澤田 幸治

私は「ヒト」が好きです。仕事もパソナという会社で人材派遣業を行っており、日々「ヒト」と向き合い、「ヒト」を活かす事を考えています。お仕事を希望される方々にご登録いただき、ご希望に応じたお仕事を案内する人材派遣サービスを提供できる事を目標としています。

10月に入会させて頂いたばかりで、右も左も分かっておりませんが、会員の皆さんは、福井の文化や歴史をよくご存知の方ばかりなので、そんな皆さんとの素晴らしい福井の地域に貢献したいと思っております。様々な会合やセミナーに参加させて頂き、福井の活性化と自分自身の経営者としての資質を高めていきたいと思っております。人材に関するお悩みがあれば、お気軽にご相談下さい。

現在福井テレビ事業局に在籍しており、テレビ広告から大型・中型・販促イベント、タレントブッキング、設営物など気軽に相談ください。



林 雅紀

司法書士・行政書士の林雅紀と申します。某不動産会社の営業職を約7年勤め、その後会計事務所勤務し、平成15年春に「林雅紀司法書士事務所」を創立。開業後5年経ちます。中心的業務は不動産登記業務、商業法人登記業務。中小企業関係では主に定款作成変更、事業再編・承継手続、商取引関連の契約法務等々。民事一般では少額の民事紛争問題・消費者被害救済問題をとり扱っております。皆様今後とも宜しくお願い申し上げます。



岸田 麻由

はじめまして。株式会社JTB中部福井支店岸田麻由と申します。前会員の加藤より引継ぎを受けまして、2月から入会することになりました。JTBは皆様もご存知の通り、旅行会社です。その中で、私は団体旅行課に所属しております。私の仕事は、個人の切符の手配、団体旅行の営業から添乗員までと言わば旅行に関するなんでも屋さんです。もともと旅行が趣味でこの会社に入りました。今年入社3年目。慌しく過ぎていく毎日ですが、日々の業務をがんばっています。皆さん、旅行や出張などで、何かありましたらお気軽にご相談くださいませ!



角谷 恒彦

YEGの活動につきましては、まだまだ分からないことが多いですが、YEG活動に参加をして、皆様方と交流を深めたいと思ひます。是非共々よろしくお願ひ致します。

女の子
結理(つむぎ)ちゃん



平成19年5月10日生まれ
20年後、振袖と赤い
ちゃんちゃんこでW
オメデタ!?

◆ 景山直恵会員 ◆

男の子
登洋(つゆ)ちゃん



平成19年11月27日生まれ
元気にすくすく育
ちますように…

◆ 石川裕夏会員 ◆

男の子
優斗(ゆう)ちゃん



平成19年9月17日生まれ
家の中が一気ににぎや
かになりました。誰にで
も愛想が良く、誰に似た
のか…

◆ 松井良平会員 ◆

男の子
祐暉(ゆう)ちゃん



平成19年11月14日生まれ
「祐」は「人を助ける」
「暉」は「かしこい」と
いう意味。パパ似?ママ
似?って聞かれるがどう
やらパパ似らしい…。ど
うりで鼻がペタンコ。

◆ 菊 祥行会員 ◆

西木田通信

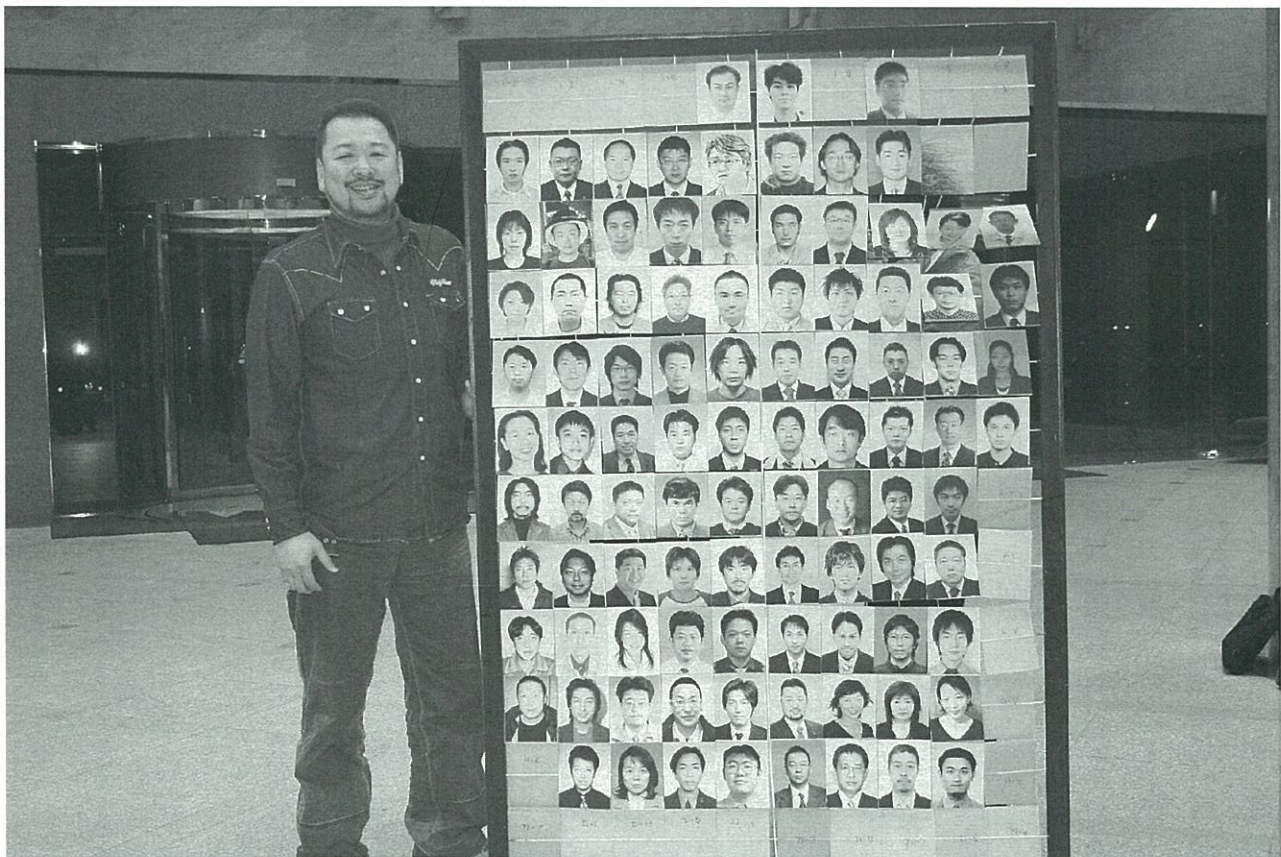
「青年部事務局やりたいです!」と言った四月、正直後悔しました。役員会では弁当注文を忘れ、総会では資料の添付漏れ…。「二年目の若造で大丈夫か?」と不安になられた方もいらっしゃるでしょう。

青年部をサポートするはずの事務局が、逆に皆様に支えられ、良いこと悪いこと(?)いろいろ教えていただきました。最も成長した委員会に送られる賞MIP、私も対象になるのでは?密かに期待しています。

さて、今年度も盛りだくさんの青年部でしたが、特に印象に残っているのは「さくらのおはし」。事務局の電話回線がバンクするほどの大盛況でした。臨時開催!おしごと探検隊アントレ・キッズ「コールセンターって何?」といった感じでしょうか。青年部の熱い想いが、福井市民ならず全国の人々の心を動かした瞬間だったような気がします。

とても忙しい毎日でしたが、得るものが多く非常に充実した一年間でした。次年度こそは青年部を強力にサポートするスパー事務局を目指し、再度担当に立候補したいと思っています。福井YEGのさらなる発展のため、一緒にがんばりましょう。

(事務局 渡辺幸佑)



例会全員出席を願って作られた出欠パネル。その願いは次年度へ…。